

本市の認知症事業の進捗について

1 認知症地域支援推進事業

【目的】

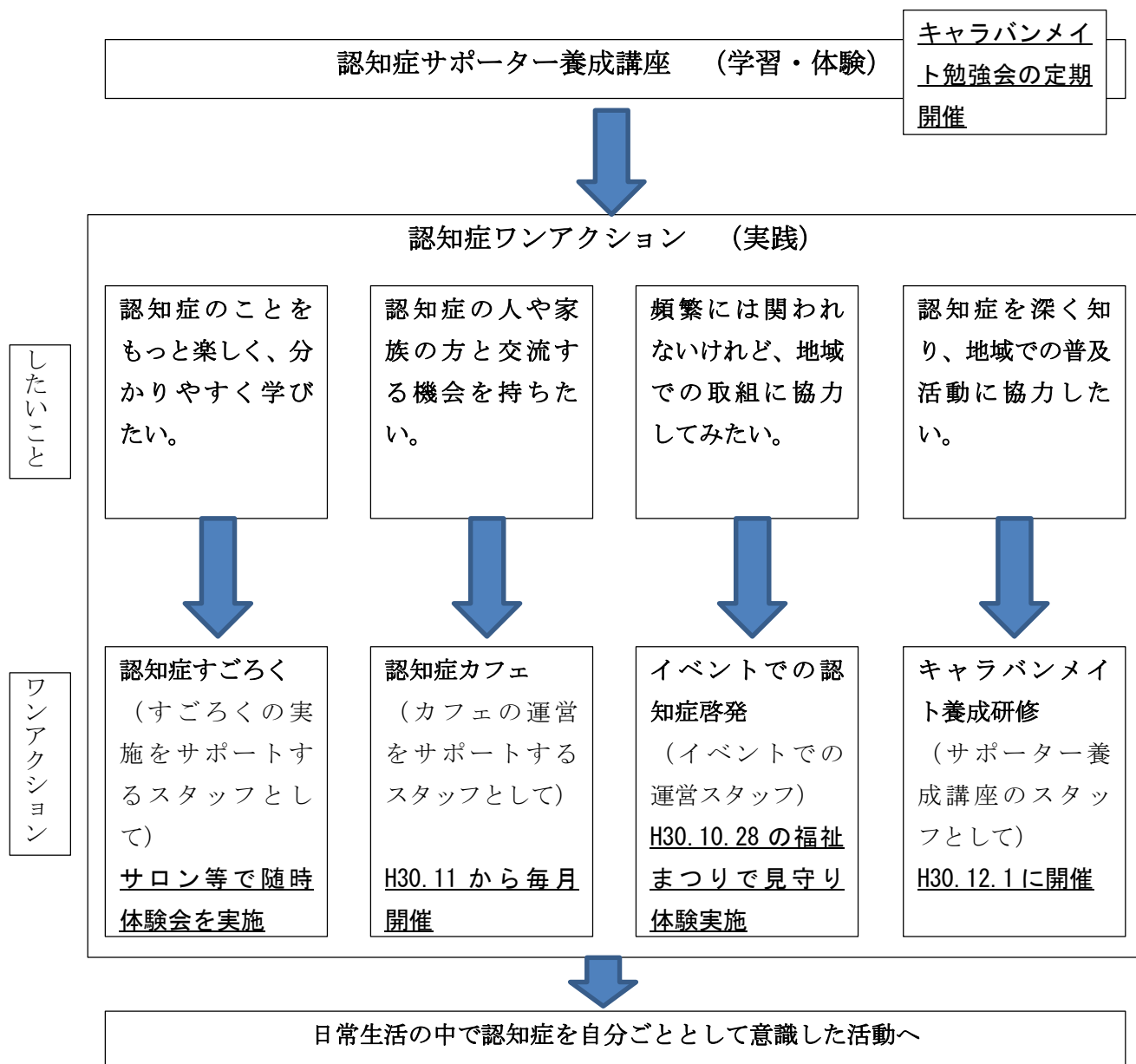
地域の一人ひとりが認知症への理解を深め、自分ごととしての意識を高めていただき、地域全体で認知症の人やその家族をサポートしていけるまちを作る。

【現状の課題】

認知症サポーター養成講座を受講した人が、受講しただけで終わってしまい、次の具体的なアクションになかなかつながらない。

【課題解決のための方向性】

認知症のことを学んだ人が、自らの興味関心や地域の課題に応じて、主体的に関わるちょっとした行動（認知症ワンアクション）をとっていけるような役割や居場所を作っていくことで、認知症への理解をさらに深め、一人ひとりの意識を高められるようにする。



2 認知症初期集中支援チーム事業 (チーム概要 別紙)

【目的】

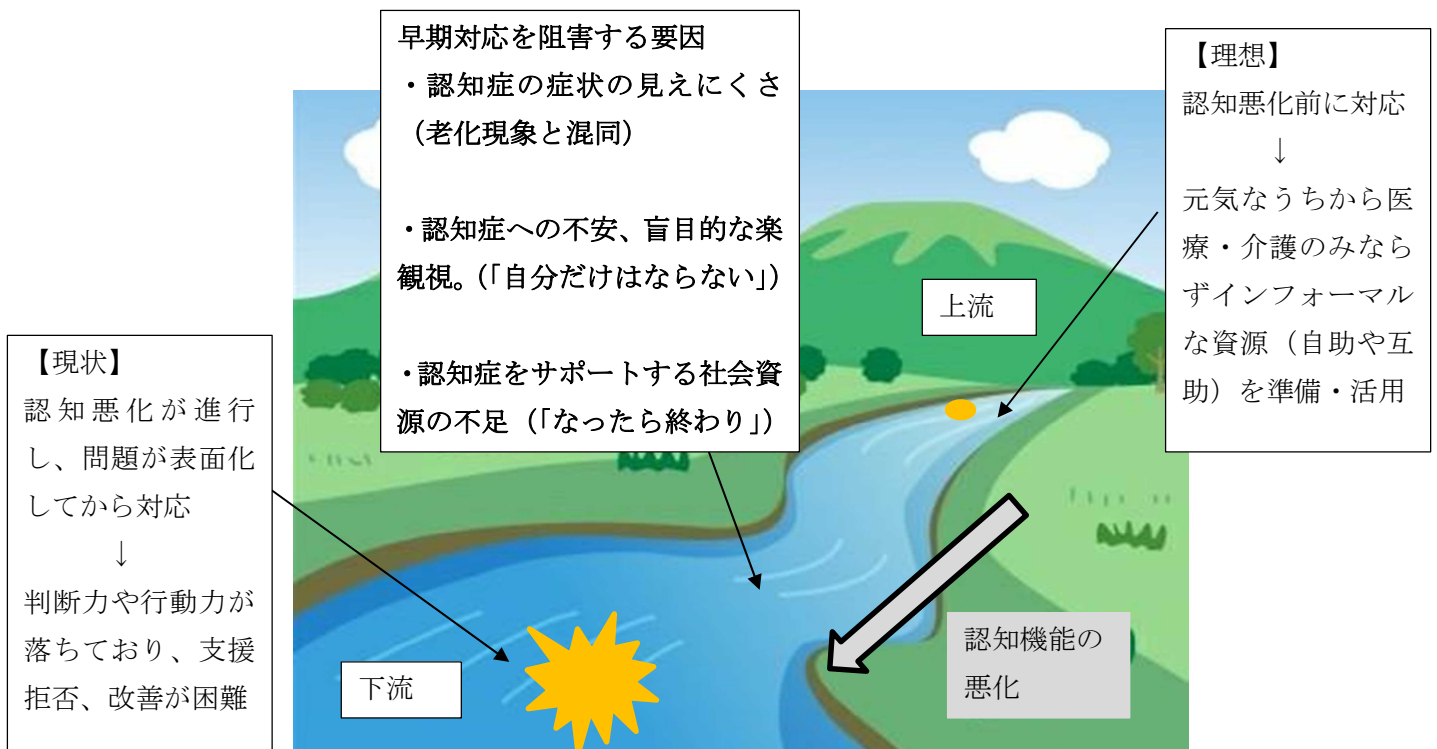
認知症の人やその家族に対して、早期診断及び早期対応に向けた支援体制を構築する。

【現状の課題】

地域包括支援センター相談業務の延長線上として、認知機能が悪化した困難事例ケースが主になっており、MCIなど認知悪化前の人への対応には着手できていない。

【課題解決のための方向性】

ケース対応を重ねてチームとしての経験値を高めつつ、認知症のマイナスイメージ（わからないものへの不安、おそれ、不治の病のイメージ）を緩和し、プラス方向（もし認知症になっても大丈夫、認知症はこわくない）に転換していけるよう認知症理解の普及啓発、社会資源の環境整備を進めていくことで、早期診断、早期対応への意識を地域全体で底上げしていく。





平成30年4月から

「認知症初期集中支援チーム」

の運用を開始しました

認知症が疑われる人やそのご家族をサポートするための専門チームができました。このチームは、愛知医科大学病院の認知症専門医（サポート医）と、市内2つの地域包括支援センターの専門職で構成されています。

対象となる人

ご自宅で生活していて、認知症が疑われる40歳以上の方で、
病院の受診や介護サービスの利用ができていない人 など

1 相談

- ・認知症が疑われるが、どうしたらいい？
- ・受診してもらいたいが、本人が拒否している
- ・介護サービスを利用したいが、うまくいかない など…

こちらへご相談ください

【長久手小、東小、北小校区の方】

長久手市社会福祉協議会地域包括支援センター

TEL 0561-64-1155

【西小、南小、市が洞小校区の方】

愛知たいようの杜地域包括支援センター

TEL 0561-64-5174

2 ご自宅を訪問

サポート医の助言のもと、チームの専門職
がご自宅を訪問し、お困りごとや心配ごとを
伺います。

3 専門チームのサポート

約6か月間、必要な医療や介護につなぐ
などのサポートを行います。

その後は、ケアマネジャーなど関係機関へ
引継ぎをします。

お困りのこと、ご心配なことがあれば
ご相談ください。

長久手市長寿課地域支援係 TEL 0561-56-0639

